



窪町だより

窪町小学校令和6年度6月号

窪町小学校ホームページ URL: <http://www.bunkyo-kyo.ed.jp/kubomachi-ps/>

下級生を 10,000 倍盛り上げる！

— 児童 A のノートから —

副校長 小室 敦弘

「小室副校長先生、これを見てください。」

6年生の担任が、児童 A さんのノートを手にも、私に話しかけてくれました。見ると、それは「なかよしタイムの活動計画」です。児童 A さんの力強い文字で、活動の「めあて」がこう書いてありました。

「下級生を 10,000 倍盛り上げる！」

なんという意気込みでしょう。にわかに鳥肌が立ちました。

本校の教育活動の特色の一つに、「異学年活動」があります。1年生から6年生までの異年齢の子どもたちが、1、2か月に1度、たて割り班で45分間を楽しく過ごす活動です。毎回6年生が中心となって前々から準備をして、下級生たちが楽しく過ごせる時間になるようじっくりと企画を練って行っています。

なかよしタイム当日になりました。異学年で構成されている班のため、メンバー同士は互いのことをほとんど知らない状況です。そういったことを考え、まずは6年生から自己紹介の手本を見せて、それから5年生、4年生、と学年が下がるように配慮する優しい6年生の姿も見られました。そのような班では、活動の出だしから教室が一気にあたたかい雰囲気に包まれ、その場にいた私もほのぼのとした気分になりました。

またある6年生は、活動中に音楽をかけることを思いつき、自分たちのタブレット端末を用いて明るい音楽を再生することで、下級生の気分を盛り上げる工夫をしていました。

6年生の豊かな発想による創意工夫と熱意のおかげで、どの教室も笑い声と笑顔があふれていました。なかよしタイム終了時には、子どもたちの満たされた表情があちらこちらに見られたことから、児童 A さんのあの「めあて」は、見事に達成されたであろうことは、言うまでもありません。

本校は、今後もこのような活動を通して、人と人とのつながりを大切にしたい温かい教育を心がけていきます。

レクリエーション委員会について

(レクリエーション委員会担当)

レクリエーション委員会では、全校の児童が楽しめるような集会を企画し、実施しています。昨年度の後半から対面での集会が再開され、じゃんけん列車や〇×ゲームなどを楽しみました。いろいろな学年の友達と楽しそうに関わる様子がたくさん見られました。

今年度は、さらに楽しくできるようにするためにはどのようにしたらよいかと、レクリエーション委員会の子どもたちがおもしろそうな企画をたくさん考えています。みんなで話し合っってよりたくさんの子どもたちが楽しめるような企画を考え、全校児童が笑顔になれるような時間を作っていきたいと考えています。

生活指導部より

(生活指導主任)

歩道の歩き方が気になっています。4月には、歩道内を歩いていた児童が自転車と接触する事故もありました。「窪町スタンダード」には、歩道の半分を空けて歩くことが明記されています。建物側(学校側)に寄って歩くよう繰り返し声を掛けています。傘を差すことの多い、梅雨も近づいています。安全に気を付けて行動できるように、引き続き指導していきます。

ハケ岳移動教室

(5年担任)

5月20日～22日に、ハケ岳移動教室に行って参りました。初日、学校を出発したときには降っていた雨もハケ岳高原についた時には上がり、天気にも恵まれた3日間となりました。1日目は、飯盛山の登山をしました。登頂したときの子どもたちの笑顔が印象的でした。2日目以降は、自分達で調理した「ほうとう」の味に感動したり、森の中で自然を全身で体感したり、牧場で動物と触れ合ったりするなど普段ではできない貴重な体験を行うことができました。

今回の移動教室では、このような経験を通して、友達と協力することの大切さ、仕事への責任感、様々なことにチャレンジする大切さを学習した3日間となりました。今回学んだことを今後の日常生活にどのように生かしていくのか、これからの更なる成長に期待しています。

○離任された教職員からのごあいさつ○ (5月号で紹介しきれなかった教職員の紹介です。)

3年間という短い間でしたが、本当にお世話になりました。養護教諭人生のスタートをきった窪町小学校では、「育てていただいた」という感謝の気持ちでいっぱいです。保護者の方々、地域の方々、先生方、そして子どもたちから多くのことを学び、成長することができました。また、ここで出会えた皆様と過ごした時間は本当に幸せなものでした。その中でも特に思い出深いのは、日々たくさんの子どもたちと話したり笑いあったりしたことや、子どもたちの頑張りや成長が多くの場面で見られたことです。3年間ありがとうございました。今後も皆様のご活躍を陰ながら応援しています。

前養護教諭



